

みんなの議会

令和8年6月定例会

長与町
議会だより
No.198

2つのテーマに分かれ、皆様と議員が
同じテーブルで意見交換いたします。
お気軽にご参加ください！

7月26日
議会報告会

- ① 福祉のまちづくり
- ② 「教育の町長与」に思うこと



**ぜひ参加して
声を
お聞かせください**

場所：

長与町ふれあいセンター 2F

日時：

令和8年7月26日(日) 14～16時

問合せ：長与町議会事務局

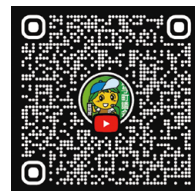
TEL 095-801-5700 Mail : gikai@nagayo.jp

緊急特集 議員を身近に…………… P2

書かない窓口への予算計上…………… P4

8人の議員が町政を問う…………… P6

地域公共交通とふるさと納税について現地調査……… P15



動画配信中

緊急特集 議員を身近に

議員定数・報酬なども含めた長与町議会の適正な在り方を考える『議会改革プロジェクト』（下記参照）の一環で実施したグループワークの中で、参加者の方々から「議員の人柄や思いを聞く機会がない」「議員と接点がなく活動が見えにくい」などの声があったことを受け、14人の議員一人一人が本人の言葉で自身を語りました。



議員を身近に感じていただき、皆様と議員をつなぐ会話のきっかけになれば嬉しいです。

議会運営委員会 活動報告

町民の意見を反映させるために

委員長 竹中 悟

長与町議会では、町民の意見を議会改革に反映させるため、「議会改革プロジェクト会議」を2回開催しました。

第1回では、議会改革の専門家である神吉信之氏を講師に招き、「議会の仕事と適正な議員定数についての講演を実施し、議会や議員の役割への理解を深めました。

第2回では、プロジェクト委員がグループごとに議会改革に関する意見交換を行い、その後、議会運営委員との質疑応答を実施しました。

会議では、議員や議会の質の向上、町民の意見を聞く機会の充実、議員活動の見える化、多様な意見の反映方法、大学生の参画など、幅広い提案や意見が寄せられました。また、ワークショップ形式による対話の場が議会への関心を高めるとの評価もありました。

議会運営委員会では、これらの意見を踏まえ、町民に開かれた議会を

目指して今後も議会改革を進めていきます。



第2回議会改革プロジェクトの様子

私たちが 長与町議会議員です

安部 都



車いす議員として15年間、福祉の共生社会の実現を目指し、25年続ける車いすダンスの普及とフラワーアレンジメントに取り組んでいます。今年、103歳と98歳の両親を在宅介護しながら、地域活動と議員活動を通じて住民の声を行政に届けています。

金子 恵



議会だよりは、税金で発行される公的な広報紙であり、町民への説明責任を果たす大切な紙面です。議員個人の親しみやすさを伝えることも大切ですが、議会活動や審議内容を正しく分かりやすく届けることこそ重要だと考え、信頼される議会活動に努めています。

山口 憲一郎



一人の農業者として、日々地域の皆さまと関わりながら柑橘栽培を中心とした農業に取り組んでいます。「皆さまに親しまれる人」を目指し、明るく誠実に日々の仕事や地域活動に励んでいます。

堤 理志



妻と娘、愛犬と暮らす普通の長与のお父さん。届きやすい大きな声だけでなく、小さき声、弱き声に耳を澄ませています。議会では「住民は行政サービスの消費者ではなく権利の主体」「住民目線で町政を監視し提案につなげる」を信念に根拠をもって問い続けます。

竹中 悟



議員拝命以来、町財政の健全化を最重要課題として取り組んできました。住民目線で基金や起債残高の推移を注視し、将来世代に負担を先送りしないまちづくりの実現を目指し活動しています。加えて社会基盤整備を進め、住みよいまちづくりに尽力しています。

西岡 克之



副議長の西岡です。任期が1年を切る時、このような記事を公的刊行物に出すのは少し違和感がありますが、広報委員会が決めて全議員を載せると言う事で書かせて頂きます。今期達成感、はまだですが残任期、議長を支えしっかり結果を出してまいります。

安藤 克彦



議員を拝命し16年目。初心を忘れず、「町政を身近に」を胸に活動しています。休日は大村湾で漁師見習いとして海に出て牡蠣の養殖やカゴ漁をしています。不漁が続くナマコやサザエの資源回復にも漁師の皆さんと取り組んでいます。

下町 純子



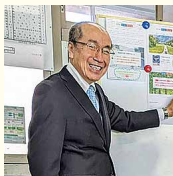
バレーボールの試合観戦がマイブームです。趣味は読書で、寝る前の30分読書が日課です。字を書くことが好きでこのデジタル時代に友達数人と文通し、日記は毎日つけています。そんな私は、節度のある穏やかな人でありたいと思いながら日々を過ごしています。

堀 真



休日はソフトテニスで汗を流し、V・ファーレン長崎の試合はホーム・アウェーを問わず、できる限り現地で応援しています。スポーツを通じた出会いや人とのつながりを大切にしていますので、町やスタジアムで見かけた際は、ぜひお気軽にお声掛けください！

岡田 義晴



前職は高校の進路指導教諭でした。教科は地歴・公民で、生徒、保護者の進路指導、三者面談のサポートもしていました。40年近い教育の世界から3年前に町議会議員となり、現在4年目を歩んでいます。教室から現場に飛び出て、現実の問題に向き合う毎日です。

八木 亮三



個性的な店や人こそ町の個性と魅力。長与が『どこにでもあるどこか』にならないよう、皆様の声を大切にしながら店も人も町も守る提案を続けています。猫と映画とラーメンと釣りが好き。飲み屋で見かけたら気軽に声をかけてください。各種SNSも活用しています。

松林 敏



防災士になって5年。幸い出番はまだありませんが、備えの充実が災害に強いまちづくりにつながると考えています。現在は、町監査委員としてたくさんの書類と格闘しています。写真のぬいぐるみは長女作の私の分身です。

西田 健



真夏日がやってきます。うっとうしい暑さが続きますが、気持ちだけはさわやかに過ごしましょう。

浦川 圭一



家を一步出たら、道路の状況、交通の流れ、公園の手入れの状況などが、議員の習性として目に入ります。対応に不備があれば、質問など行っています。健康な老後を過ごすために、3食しっかりとって、軽い筋トレ、ガーデニングの手伝いなど行う日常です。

書かないデジタル窓口へ

可決
賛成12:反対1

令和8年度一般会計補正予算（第2号）

令和8年第2回定例会を6月2日から11日までの10日間の会期で開き、令和8年度一般会計補正予算など25議案について慎重に審議を行いました。

一般会計予算に、第2号補正で69959万3千円を増額し、総額を168億8036万5千円としました。

書かない窓口を目指すフロントヤード改革

864万2千円

LED照明買い替え支援

400万円

Q フロントヤード改革はいつから本格的に始まるのか。

A 令和9年1月4日からの実施を目指している。

Q 窓口の委託業者はいつから入るのか。

A 1月4日の開始に向け、12月中旬頃から契約し、2週間程度の研修期間を設ける予定である。

ご本人の情報をもとに、職員がシステムに入力します。



Q 申請受付開始時期と対象購入日はどうなるのか。

A 予算可決後、登録対象店舗への説明を行った上で、令和8年7月1日から申請受付開始を予定している。購入対象日は、店舗説明後の6月20以降に購入した分から対象とする。

令和の長崎スクール事業補助金
10万円

Q 令和の長崎スクールとは何か。

A 本町は個別最適な学びの部会に所属し、全ての小中学校が協力校として研究を深めているものである。

反対討論

公務員が直接担うべき業務

フロントヤード改革の目的には賛同するものの、住民票や戸籍など重要な窓口業務は行政が責任を持って担うべきだ。外部委託による行政ノウハウの喪失や安定雇用への影響を懸念し、反対。
(堤議員)

賛成討論

長期的に見て必要な予算

今後の人口減少による職員不足や予算縮小などの長期的視点で自治体運営を考えれば、フロントヤード改革に伴う業務委託は公共サービス維持と職員の業務軽減の両立に必要であり、賛成する。
(八木議員)

人事案件

農業委員会委員

任期満了に伴う農業委員会委員任命の議案が提出され、全会一致で同意されました。

山崎真由美氏（高田郷） 濱口益子氏（斉藤郷）
 山口多美子氏（岡郷） 辻裕一氏（平木場郷）
 吉川直行氏（嬉里郷） 水谷勉氏（岡郷）
 柿本透氏（本川内郷） 崎山光子氏（丸田郷）
 原田正利氏（丸田郷） 田中美佐子氏（吉無田郷）
 栗山将和氏（高田郷） 池田八千代氏（本川内郷）

固定資産評価審査委員会委員

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員選任の議案が提出され、全会一致で同意されました。

勝 直哉氏（時津町左底郷）

お詫びと訂正

1977号6ページに掲載しておりました「手話言語条例成立」の写真説明文に「長与手話サークルのみなさん」とありますが、正しくは「長崎県ろうあ協会長崎支部と長与手話サークルのみなさん」でした。お詫びして訂正いたします。

令和8年第2回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第37号	長与町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第38号	長与町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第39号	長与町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
第40号	財産の取得について	可決（全会一致）
第41号	財産の取得について	可決（全会一致）
第42号	長与第二中学校体育館改修工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第43号	都市計画道路西高田線法面補修工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第44号	岩淵堰施設整備工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第45号	長与町新図書館等複合施設建設工事（建築）請負契約の変更について	可決（全会一致）
第46号	長与町新図書館等複合施設建設工事（電気）請負契約の変更について	可決（全会一致）
第47号	令和8年度長与町一般会計補正予算（第2号）	可決
第48号～第59号	長与町農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第60号	長与町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全会一致）
第61号	財産の取得について	可決（全会一致）

賛否が分かれた議案（○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席）議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	下町 純子	堀 真	岡田 義晴	八木 亮三	松林 敏	西田 健	浦川 圭一	安部 都	金子 恵	山口憲一郎	堤 理志	竹中 悟	西岡 克之	安藤 克彦	審議結果
第39号	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	▼	○	○	※	承認
第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

一般質問

8人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

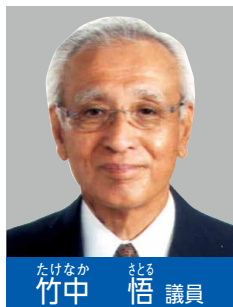
会議録は、長与図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与南交流センター、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の模様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクした二次元コードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

7	竹中 悟 議員	① 町の将来構想について ② ホンテラッセ長与複合施設運営について
8	八木 亮三 議員	① ホンテラッセ長与の有効活用を ② 関係人口・交流人口の増加のために
9	金子 恵 議員	① 高齢者が地域で安心して暮らし活躍できる環境づくりについて ② 長与総合公園水泳プールの安全性・プライバシー保護及び今後のあり方について
10	岡田 義晴 議員	① 本町の教育予算のあり方について
11	西岡 克之 議員	① 町所有の建物管理について ② 1人に寄り添う英語教育について
12	浦川 圭一 議員	① 町道西高田線の渋滞改善について ② 目的が未達成と思われる事業の今後の取り組みについて ③ LED照明器具賃貸借契約について
13	安部 都 議員	① 丸田荘浴場施設の継続について ② ふるさと納税の現状とその更なる額の拡大そして使途について
14	堤 理志 議員	① イラン情勢による本町の行政と住民、および事業者への影響について ② バス停等へのベンチ設置について ③ 公共施設の役割について

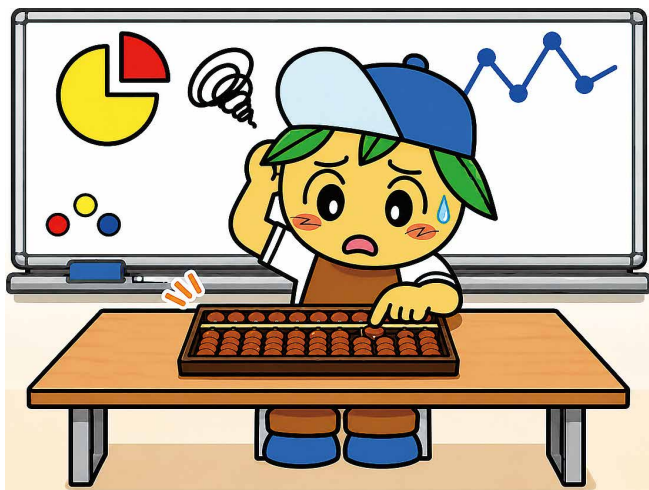


財政は健全か



動画は
こちらから

回答 健全な財政維持に努めている



財政は健全か
(イラストは AI により作成)

■議員 町長が就任し、はや14年になる。幸福度日本一と明言し、運営に当たっているが、第11次総合計画を見ても本町の将来像が見えてこない。自己評価の実績を示せ。

■町長 町民提案箱、ほつとミーティングなどを通じ、子育て、教育、健康づくり、遊び心の4つを柱とし、多様な事業を行っており、事業数は120件に上っている。

■議員 日頃から財政は健全と公言しているが、財政調

整基金は約20億円、一方、町債残高約124億円、今後発生する新図書館等複合施設建設費約30億円、新浄水場共同施設の町負担金約61億円である。町債負担額を合計すると約160億円になる。また、財政力指数はこの10年で0.67から0.6と急激に悪化している。具体的な財政健全化対策を尋ねる。

■町長 自主財源確保に努めると同時に、事業見直しなどによる歳出節減を図りなが

ら、歳入歳出のバランスを保つことが重要と感じている。第11次総合計画の中で健全な財政基盤の維持と掲げている。

■議員 歳入計画としては、ふるさと納税、企業誘致が効果的である。他自治体は町長がトップセールスマンとして奔走している。歳入に対する取り組みと構想はどうか。

■町長 掲載ポータルサイト数の拡充、町の魅力の情報発信、また長与港地区計画を決定し企業誘致に努めている。

■議員 道路行政について、実情に合った構想ならびに将来に向けた道路計画を示せ。

■町長 本町の道路は、国道207号、県道長崎多良見線、県道長与大橋町線といった道路形態が形成されている。関係行政機関と連携を図る。課題として、維持コストの増大が懸念されている。

■議員 渋滞に対し、新道および総合的な道路計画の見直しはないのか。

■町長 新道については、

(仮称)小島田・榎の鼻線について検討を進めている。広域ネットワーク形成で西彼杵道路、長崎南北幹線道路の早期完成を期待している。

問 健康センターでの住民サービスは

答 サービスは低下させず健康を守る

■議員 ホンテラツセ長与複合施設の運営について、図書館の月曜・祝日休館は、令和8年3月定例会において、修正議案を提出し開館となった。しかし、健康センターについて、以前は月曜から金曜の5日間開館が複合施設条例により月曜休館のため4日間開館となっている。30億円掛けた施設なのに住民サービスの低下は容認できないが、基本的な考えを尋ねる。

■町長 6年度から4日間開館でやっている。今後も同様の形態でサービス低下することなく住民の健康を守っていく。



ホンテラッセ長与には読書通帳を



動画は
こちらから

回答 本の履歴を残す方法は検討したい

- **議員** ホンテラッセ長与には移住・定住促進のためのにぎわい創出の役割が期待されている。そのためには、複合施設であることを生かして町民を中心とした日常的な利用者を増やし、人と人がつながる場所となることが重要と考え以下について質問する。
- **町長** ホンテラッセ長与での計画は今のところはないが、児童館で8月に小学生向けの手話講座を開催予定だ。
- **議員** 県立図書館は手話での読み聞かせを行っている。ホンテラッセ長与でも実施すれば、近隣市町からも聴覚障害の子どもや家族が参加し、つながることができる。当事者や支援団体に提案してはどうか。
- **住民福祉部理事** 7月に聴覚障害の当事者や支援団体と協議するので、県立図書館の取り組みの情報は提供する。
- **議員** 認知症への理解と学



読書通帳で読書意欲向上を（画像はAIで作成）

- びを深められる、認知症バリアフリー社会の一端を担う施設にもなるように認知症コーナーを常設してはどうか。
- **介護保険課長** 現図書館で例年9月に認知症特設展示を実施しているので、常設になるかは分からないが、新図書館でさらに広げていきたい。
- **議員** 預金通帳のように借りた本が記帳されていく読書通帳の導入で、児童の利用者が10%増加した図書館がある。本の金額も印字され、借りたことでいくら得したか分かり、大人もモチベーションが上がると思う。導入してはどうか。

- **生涯学習課長** 読書通帳の導入予定はないが、借りた本の履歴を残すことは利用促進になると考える。方法はいろいろあるので今後検討したい。
- 問** 諫早市と協力し
琴ノ尾岳の整備を
- 答** 観光資源なので
諫早市に相談する
- **議員** 人口減少対策としてのシティブロモーションについて聞く。琴ノ尾岳を観光に活用すべきと思うが、数年前からせつかくの眺望が生い茂る木で全く見えない状態だ。自動販売機もない。諫早市と協議しアイデアと予算を出し合って整備すべきと思うがどうか。
- **産業振興課長** 観光資源なので、訪れた人が落胆することなく楽しめる仕組みづくりを諫早市と相談してみたい。
- **議員** 沿道の事業者のためにも、シーサイドストリート周辺に、島原市大三東駅の黄色いハンカチのような新たな

なスポットづくりをすべきではないか。

■ **課長** 今後検討したい。

■ **議員** 定住意識につながるシビックプライド（※）醸成のためにふるさと納税クラウドファンディングを導入し、寄付金で行えそうな事業のアイデアを全庁的に募ってみてはどうか。

■ **企画財政部長** 財政課としては提案はどんなしてもいいと思う。



カップルが鍵をかけに来る三段壁（和歌山県）のようなスポットを

※シビックプライド
住民が自分の住む町に持つ誇りや愛着とそれに基づく貢献意識のこと。



住民サービスと高齢者就労両立を



動画は
こちらから

回答 バックアップしていきたい



地域のために自分らしくいきいきと暮らせる環境を！

■議員 高齢者がこれまで培ってきた経験や知識を生かし、地域の中で役割を持ちながら活躍できる環境づくりが大切である。高齢者の就労支援や機会の確保について、どのような考え方で進めているのか。

■町長 高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、長崎労働局、ハローワーク長崎および長与・時津シルバー人材センター（以下センター）と連携し、高齢者の意欲、能力に応じた雇用、多様な就業機会の確保などを図っている。

■議員 高齢者が、希望や体力に応じて無理なく働くため、多様な受け皿が必要である。現在の高齢者就労の受け皿は十分に確保されていると認識しているか。

■産業振興課長 センターと協議などを行っている。年々受注機会や受注額が増えていると聞いている。

■議員 屋外作業では、雨天や猛暑などで作業が中止・延期となることがある。安全確保は当然必要である。しかし、その結果として働く機会が減少している実態があれば、高齢者の就労機会の確保という観点から、課題として把握する必要があるのではないか。

■課長 センターが屋外作業を受注する場合、一般的には庭の草刈りや剪定などであり、雨天であれば翌日や晴れた日に順延して作業されるものと理解している。

業務の履行確認を

■議員 高齢者の就労の機

会と意欲の確保のためには、公園の除草などの委託した作業が完了しているかどうかの確認が重要だと考えるがどうか。

■土木管理課長 見積もりと比べると、当初の時間数に達していないこともある。今後、センターと協議し、できる作業が残っていれば、契約金額の範囲内で作業を行ってもらいたい。

■議員 就労の場や機会を高齢者に支えてもらうことは、町民サービスを支える面がある。サービスの維持と高齢者の就労機会の確保を両立させるべきではないか。

■町長 本町に住む高齢者が生きがいを持って働けるように、できる限りバックアップしていきたい。

問 早急に対応せよ
プライバシー保護

答 可能な対策を検討していく

■議員 長与総合公園水泳プールは利用する子どもたち



安心して利用できるプール環境へ

の姿が町道など外部から見やすい状況にあり、安全面、防犯面、プライバシー保護の観点から課題がある。早急な対応と中長期的な施設の在り方を併せて検討する必要がある。利用開始に向けた対策を検討しているか。

■教育長 プール内を見えづらくする工夫、監視員による見守り強化、注意を喚起する看板の設置、場内アナウンスなどのほか、日焼け防止にも効果的なラッシュガードなどを羽織ってもらうよう促すなど、可能な対策を検討していく。



教育費を優先すべきと考えるか



動画は
こちらから

回答 優先的にすべきと認識している

- 議員 教育基本法は、国と地方自治体が、すべての国民にその能力に応じて等しく教育を受ける機会を保障する責任を負うと定めているが、本町は、この法的義務と国の基本方針を踏まえ、教育費を優先して確保すべき分野として位置付ける考えがあるか。
- 町長 子どもたちの教育に関する予算は、優先的に、またできる限り確保すべき分野だと認識している。第11次総合計画においても、基本目標に心を育む教育と文化を掲げ、施策として子どもが健やかに育つ環境づくりや学校教育の充実などを定めている。
- 議員 教育は、未来の地域の担い手への投資という認識はあるか。
- 町長 若者世代が町外へ流出してしまうと働き手が減少し、労働力不足によって地域経済を衰退させてしまうことや医療、福祉などの担い手不足が予想される。よって未来の地域の担い手である子どもたちへの投資は必要と認識している。
- 議員 教育への投資は、未来の行政コストを抑える先行投資という考えはあるか。
- 町長 小学校区を単位とする地区コミュニティのつながりは、コミュニティ社会の維持や活力ある長与町の将来のためにも大変重要である。その土台が子どもたちへの郷土愛を育む教育、いわゆる教育の先行投資だと捉えている。
- 議員 教育費に対する姿勢は、財政制約がかかる部分ではやや抑制気味の傾向が強くなるが、本町ではどうか。
- 財政課長 子どもたちの教育に関する予算は、優先的に確保すべき分野だと認識している。できる限り予算を配分しているので、教育費を抑制するという認識はない。
- 議員 教育費は、ただ単に上げれば良いというものではなく、何にどう使うかがより重要なポイントと思うが、どうか。
- 課長 限られた予算、財



教育費は、未来の担い手である子どもたちへの投資！

源なので何にどう使うかは非常に重要だ。緊急性、優先順位、費用対効果などを総合的に判断し予算を配分している。

■議員 この少子化の中、子ども一人当たりの教育費は増えているのか、減っているのか。

■課長 増えていると認識している。

■議員 寄付金のうち、どれくらいが子どもたちのために使われているか。

■課長 ふるさと長与応援寄付金の約40%が、教育、また、子どものために使われている。



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

エレベーター保守点検の実情は



動画は
こちらから

回答 有資格者などが点検を行っている



管理費の削減を

■議員 本町の建物にはエレベーターが設置されているが、元気な人は目的階まで自らの足で移動しており、足腰の悪い人や高齢者、身体的障がいのある人などはエレベーターを利用し目的の階に行かざるを得ない。そのため、その保守点検を欠かすことはできない。人命を預ける機械なので細心の注意を払うことが大事だが、かかる経費は少しでも削減できれば町の出費が削減できる。そこで、今まで

個別に管理をしていた当該機械を一括管理してみれば経費の削減になると思うが、どうか。順に質問する。本町所有建物におけるエレベーターの数は何基か。

■町長 役場ははじめ10カ所12基だ。

■議員 保守点検サイクルはどのくらいのスパンで行われているか。

■町長 定期検査は、国の基準に適合しているかの法定点検が、1年に1回、有資格

者による点検で、保守点検は、機械に異常がないかの調査目的で1カ月に1回、専門技術者が訪問点検している。なお、リアルタイムで遠隔監視をしているエレベーターは、3カ月に1回の訪問点検を行っている。

■議員 年間のランニングコストはどうか。

■町長 町内12基の保守点検費用合計額は、約762万9千円で、平均1基あたり約63万6千円だ。

■議員 点検時間はどうか。

■町長 おおよそ1基あたり1時間から1時間30分程度だ。

■議員 保守点検作業、仕組みはどうか。

■町長 施設管理者と保守事業者で、使用に支障がない日時に実施している。

問 ALT活用の現状と成果はどうか

答 配置が日常化学習意欲の向上

■議員 一人に寄り添う英

語教育について、英語が好きと感じる生徒はどの程度いるのか。

■教育長 町内児童生徒に実施した外国語学習の意識調査では66・3%が「英語が好き」、「どちらかといえば好き」との回答だ。

■議員 ALT活用の現状と成果はどうか。

■教育長 町内の学校ではALTの配置が日常化しており、児童生徒は積極的に英語を用いて会話するなど、学習意欲の向上につながっていると認識している。

■議員 英語を実際に話す機会が十分確保できているか。

■教育長 学習指導要領に基づき授業改善、ICTの活用、および町独自のイベントを通じて、児童生徒が英語を話す機会を確保している。

■議員 オンラインを使用した英会話の導入はどうか。

■教育長 海外の講師と個別につながることで個々の能力の向上が期待できる。



右折帯車線を長くし渋滞改善を



動画は
こちらから

回答 交通量や道路幅員を基に検討する



町道西高田線渋滞状況写真

■議員 町道西高田線の渋滞改善について、県道へ出る右折帯車線を長くすることで、渋滞する車列から右折帯への進入が容易になり、車列の短縮が促され渋滞解消の改善につながると思うがどうか。

■町長 一定の渋滞緩和効果が期待できると考える。交差点周辺の交通量や道路幅員の構成などを踏まえ検討する。

問 長与中央線沿いの植栽の改善は

答 時期や種類等研究し対応する

■議員 約4年前に南陽台北口に位置するさくら公園の斜面地に植栽されていたツツジ

を、回復が見込めないほど強く剪定された。回復しない場合は植え替えるとの回答であったが、今後どう対応するのか。

■町長 つる性植物の対策とあわせ、ツツジの植栽時期や植栽範囲等について検討していく。

■議員 長与中央線沿いの植栽についてわずかながら、いまだに雑草が覆い茂っている植栽柵などもあるようだが、きれいなまちづくりのため改善できないか。

■町長 植え付け時期や多年草の種類などを研究の上対応する。

■議員 皿山地区において発掘調査を進めるという趣旨で買収された土地建物の内、建物のコンクリート基礎部分が残されたまま何年も放置されているようであるが、今後の取り組みを聞く。

■教育長 基礎部分を残しているのは、その下にある貴重な過去の遺構を深く傷つけないよう、慎重に解体するためである。今後は、県の担当

課と協議しながら、発掘計画の策定・実施を進めていく。

問 道路照明は現状の管理体制で

答 費用対効果ではリースが安い

■議員 5年間総額、約4億8千万円のLED照明器具賃貸借契約は長期継続契約の対象にならないと思うがどうか。

■町長 契約できる対象物品として「機械及び装置」とあり、対象になると考えている。

■議員 その契約は条例で定める一般的なもののなか。

■教育総務課長 他市町でも多く契約されていることから、一般的であると考えている。

■議員 電気店でリース契



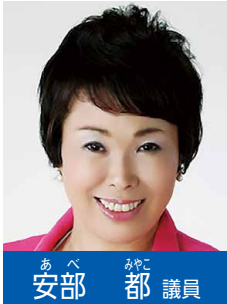
4年前の剪定（伐採）時状況写真
南陽台北口さくら公園

約の商品はないと思う。複数年契約が一般的ではないと判断したが、町では一般的な契約と判断しているのか。

■課長 私共は一般的と理解している。

■議員 道路照明器具については、現状では、不具合が生じた場合に器具を取り替えるなどの対応を取っていると思う。その場合の維持管理費が年間2百万円程度であるとのことだが、新たな賃貸借契約で年間1千万円を10年間払うことを考えれば、現状のままの管理体制で良いのではないかと思うがどうか。

■土木管理課長 費用対効果の検証をしたら一括リースの方が安いという結果が出た。

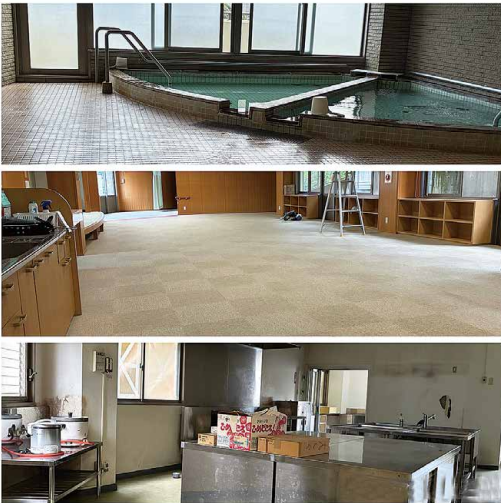


丸田荘の条例改正と施設の改造を



動画は
こちらから

回答 現時点での検討は困難だと考える



1階フロアに健康器具を設置し、
癒しの「みんなの丸田荘」の継続を！

■議員 老人福祉センター丸田荘ではなく、「みんなの丸田荘」と条例改正し、もっと多くの住民が利用できるよう施設の改造や交通手段も含めた考えはどうか。

■町長 「老人福祉センター」という名称が、高齢者向けの施設と印象を与えていることは認識している。「みんなの丸田荘」への名称変更や施設の改造、交通手段の確保などにより、現状より利用者が増える可能性も考えられるが、町全体の事業計画との調整を考慮すると、現時点での検討は困難だと考える。

■議員 廃止する理由は何か。費用対効果を見直すことで、継続することは可能か。

■町長 廃止の最大の要因は、単なる赤字金額の多寡ではなく、利用者の減少である。

ジム器具設置を

■議員 提案するが、1階の空きスペースに若い世代も利用できるよう健康と体力維持のためジムの器具を設置し、厨房もあるのでそこで軽食を取り、その後にお風呂に入って帰るなど利用者の利便性も増し若い世代の増加も期待できると思うがどうか。

■住民福祉部理事 健康器具を置くと人件費もかさみ、入浴料も高くなる。また、町が営業することが民業圧迫にならないかなどの課題もある。

交通手段の確保へ

■議員 「丸田荘に行きたくとも、行くための手段がない」との声を聞く。交通手段の改善も必要だ。コミュニティバスや自動運転バスを導入し、丸田荘経由で走らせたらかどうか。

■企画財政部理事 丸田荘の施設の方向性も踏まえ、移動手段の検討の必要性があれば検討したい。

■議員 条例では「丸田荘の管理運営を他に委託することができ」とあるが、これまでに委託を考えたことはあるか。また、今後の考えを問う。

■町長 町直営での運営は、難しいと考える。ほとんどの市町が社会福祉協議会に委託か直営しており、市町が直営しているのは、長崎市と本町

だけである。民間企業による浴場施設の運営も有効活用の一つと考える。今後、賃貸や売却など手法も視野に入れ検討する。

問 ふるさと納税拡大と返礼品拡大を

答 使途を見直し活用の幅を広げた

■議員 ふるさと納税額の使途と納税額の拡大による新たな導入や取り組みはどうか。

■町長 令和8年度以降の使途は、子ども・子育て支援の充実や学校教育、地域の活性化、公共インフラ整備など事業の幅を広げ、戦略プロジェクトの推進を図る取り組みへの活用も検討していく。

■議員 返礼品の特産品の拡大のため、移住者に米の栽培を行ってもらう考えはどうか。

■産業振興課長 農業で移住してもらえば非常にありがたいが、本町の米農家の規模を考えると難しい。

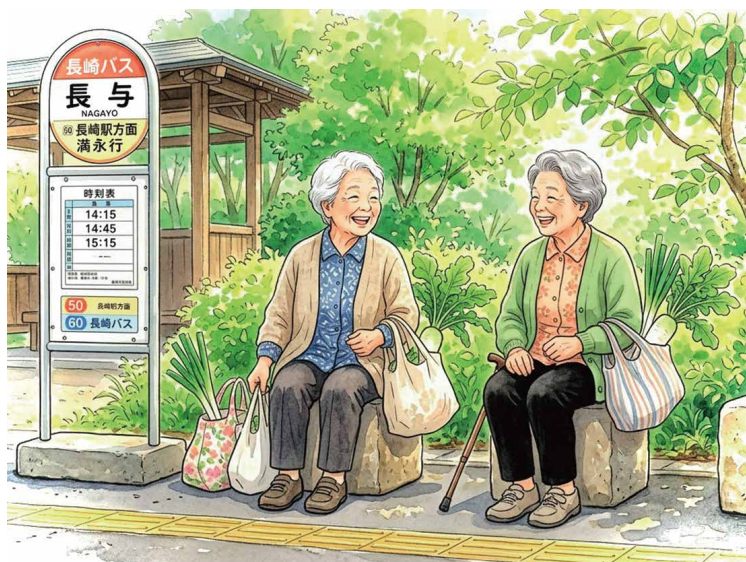


イラン情勢の町への影響はあるか



動画は
こちらから

回答 ごみ袋など影響が出ている



石のベンチがあれば笑顔が増える
(イラストは生成 AI により作成)

- 議員 イラン情勢による本町の行政や住民および事業者への影響はどうか。
- 町長 指定ごみ袋や新図書館等複合施設建設工事などに影響が出ている。
- 議員 実態把握や国などへの要請は考えているか。
- 町長 実態把握に努め、国県へ必要に応じて課題や要望を提起していく。

問 バス停などに
石のベンチ設置を
答 前向きに検討する

■議員 時津町ではウォーキングコースやバス停などに石のベンチを設置した。本町の建設、石材、造園業など、地元事業者の受注機会の確保と住民福祉の増進を目的に設置できないか。

■町長 バス利用者の利便性は重要と認識している。導入可能性を研究したい。

■議員 座る場所がないと熱中症リスクも高まる。利便性に加え健康を守る施策という位置づけができないか。

■政策企画課長 熱中症リスクもあると感じる。公共交通の利用促進においても重要であり、前向きに検討する。

■議員 ウォーキングコースにも設置できないか。

■健康保険部長 コースを確認し検討したい。

問 公共施設での
娯楽も社会教育か
答 娯楽も社会教育の
重要な形態

■議員 公共施設の役割として、娯楽や相互親睦は社会教育の要件に合致するか。

■教育長 社会教育法において、公共施設における娯楽や相互の親睦は、孤立を解消し、連帯を強め、地域社会の一員として心身の充実を図ることを目的とすれば、社会教育法

が定めるレクリエーション活動の重要な形態の一つである。

■議員 文化ホールは入場料収入では採算が見込めないが、建設した目的は何か。

■教育長 町民が身近な環境で質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む場を提供するためである。文化的な生活基盤を支える不可欠な公共サービスであり収益を目的とした施設ではない。

■議員 赤字・黒字、損得勘定では測れない文化的豊かさ、心の育みを体現する役割があるとの認識があるか。

■生涯学習課長 文化的豊かさ、心の豊かさを得てもらうための企画などを実施している。

■議員 JR長与駅コミュニティホールは、カフェで注文しないと利用できないと誤解されているとの話があった。駅利用者と事業者が良好な関係を築くための方策はどうか。

■契約管財課長 分かりづらい表記であったので、誰もが気づく表示の看板などを設置したい。

地域の足を未来へつなぐ学びに

委員長 金子 恵

○調査期日

令和8年5月20日～22日

○調査場所

滋賀県草津市
福井県敦賀市
大阪府摂津市

○調査目的

地域公共交通について

草津市

公共交通をまちづくりと一体で捉え、バス、デマンド交通、地域の支え合いの役割分担や、利用状況・財政負担を検証する仕組みを学びました。

敦賀市

交通政策を一元化し、コミュニティバスを生活交通として維持しながら、高齢者の通院を支えるタクシー補助実証などを行っていました。

摂津市

公共施設巡回バス「セッパイ号」の見直しを通じ、無料運行の課題、民間路線バスとの役割分担、住民参加による合意形成を学びました。

○調査を終えて

三市の事例から、公共交通は病院、買い物、通学、免許返納後の生活を支える基盤であり、利用実態、財政負担、地域資源を踏まえた検討が重要であると感じました。今後は本町の現状に照らし、委員会として課題整理を進めていきます。



公共施設巡回バスから地域交通の役割分担を学ぶ（摂津市）



総務厚生報告書



産業文教報告書

3市町3様の画期的なアプローチを学ぶ

委員長 山口 憲一郎

○調査期日

令和8年5月12日～14日

○調査場所

群馬県千代田町
茨城県境町
埼玉県北本市

○調査目的

ふるさと納税について

○調査を終えて

千代田町は例年約30億円のふるさと納税寄付金収入があり、最大の理由は返礼品のビールですが、委託事業者の変更や、ビール定期便でのリピーター維持など細やかな工夫を最大限行う姿勢も確実に成果につながっていました。

境町は、かつては財政危機に陥りながら、12年前に就任した現町長がふるさと納税の可能性にいち早く気づき、公社を設立して「町の特産品を返礼品にする」ではなく「人気の返礼品を町の特産品にする」大胆な戦略でV字回復しました。町長のリーダーシップ、そして町長と議会が目標を共有・理解して進む重要さを感じました。



返礼品製造のために町の公社が運営する干し芋工場（境町）

北本市は高級スーツ仕立券が高額な寄付収入を実現していましたが、市民団体の公益活動を支援するクラウドファンディング型を実施、ふるさと納税を市のPRと関係人口増加につなげているのも大きな特徴でした。

各委員の報告書は議会ホームページで公表しています。視察の内容を早くも6月定例会で一般質問に取り入れた委員もおり、意義ある視察だったと感じております。

次の定例会は **9月1日(火)** 開会の予定です。

長与町議会 (定数16)

6月定例会の傍聴者は延べ22人でした。感想の一部をご紹介します。

傍聴者の
声！



中村さん (丸田郷)

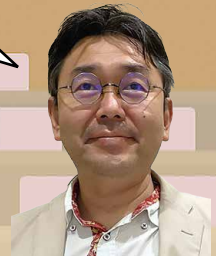
傍聴者が少なく驚きました。私自身も無関心だったことを反省。長与町をより住みやすい町にと、細かいことを大切に考えてくれていると感じました。

議会って傍聴できたんですね。また機会をみて来てみたいです。

議会終了後に議員さんとの意見交換の機会があれば。また、中高生が授業で見学できたらいいと思います。(50代・女性)

知らないことも多く、傍聴は必要だと思った。(60代・女性)

一般質問をした結果を必ず議会だよりに載せれば、町民も関心が出てくる。(60代・男性)



伊藤京一郎さん(高田郷)

議長交際費

(令和8年4月1日～6月30日)

弔慰	22,000円(1件)
慶祝	40,000円(7件)
その他(視察研修土産など)	19,044円(1件)
支出合計	81,044円(9件)



写真は令和6年11月の議会報告会の様子です。

今年度は表紙でお知らせの通り、7月26日(日)14時より、長与町ふれあいセンターで開催いたしますので、今回は長与町の「福祉」「教育」の二つの点について、ご意見やご提案、議会に求めることなどがおありの方は、ぜひお気軽にご参加ください！

表紙の
写真

編集後記

今回の定例会では、LED照明・冷蔵庫・エアコンの購入補助が可決されました。家計負担の軽減・脱炭素化につながる制度ですのでぜひ活用ください▼一方で、行政が発信する情報には優先順位があると感じます。補助制度のような「知って得する情報」だけでなく、今回の町指定ごみ袋の一時的な変更のような「知らない」と困る情報」を確実に届けることが重要です。自治会離れが進む中、情報発信のあり方について引き続き考えていきます。

(松林 敏)

議会広報広聴
常任委員会

委員長 安部 都
副委員長 岡田 義晴
委員 堀 真
委員 八木 亮三
委員 松林 敏
委員 西田 健
委員 浦川 圭一